※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２＋１単位	年次	２年次前期・後期
使用教科書	『高等学校　古典探究』（数研出版）						
副教材等	古典常識も学べる新明説総合古典文法　（尚文出版株式会社） 新明説総合古典文法基本練習ノート　（尚文出版株式会社） Key & Point　古文単語３３０〈三訂版〉（いいずな書店） 必携新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～　（尚文出版株式会社） 正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ２　（数研出版） プレミアムカラー国語便覧　（数研出版株式会社） 完成　日本文学史ノート〈三訂増補版〉　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語文化で学習した基本的な文法の復習。
単語・古典常識の習得。
有名古典作品を精読すること。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ［教材］ 沙石集 ［兼盛と忠見］	ａ：本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ｂ［読］：説話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ｃ：この説話から考えられる和歌という文化のあり方について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	随筆を読み、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ［教材］ 徒然草 ［あだし野の露］	ａ：先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ｂ［読］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方について考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを的確にまとめている。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や思想について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	随筆を読み、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ［教材］ 徒然草 ［花は盛りに］	ａ：先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ｂ［読］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方について考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを的確にまとめている。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や思想について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※令和４年度以降入学生用

前期	比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。 ［教材］ 画竜点睛	ａ：故事成語という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：故事成語という文章の種類についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「画竜点睛を欠く」の意味について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しむ。 ［教材］ 伊勢物語 ［渚の院］	ａ：「伊勢物語」を読むことを通して、和歌の伝統など我が国の文化の特質について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえで的確に評価している。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ［教材］ 大和物語 ［をばすて山］	ａ：本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：物語の内容や解釈を自分の知見と結び付け、物語の続きについて考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ｃ：本文の内容を踏まえて物語の展開について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。 ［教材］ 廉頗・藺相如 ［璧を趙に帰さしむ］ ［刎頸の交わり］	ａ：先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ｂ［読］：物語の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ｃ：本文の内容を踏まえて物語の展開について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※令和４年度以降入学生用

前期	式を用いた「大鏡」の構成老人二人が語るという形の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。 ［教材］ 大鏡 ［雲林院の菩提講］	ａ：敬語を中心に、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえで的確に評価している。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ［教材］ 大鏡 ［花山院の出家］	ａ：本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ｂ［読］：作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえで的確に評価している。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ［教材］ 大鏡 ［南院の競射］	ａ：本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ｂ［読］：作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえで的確に評価している。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。 ［教材］ 鴻門之会 ［剣舞］ ［頭髪上指す］ ［豎子、与に謀るに足らず］	ａ：文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ｃ：比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※令和４年度以降入学生用

前期	歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。 ［教材］ 四面楚歌 ［項王自刎］	ａ：文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：物語の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ｃ：「四面楚歌」という言葉について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとし、短文を作っている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	芭蕉・蕪村・一茶について文学史的知識を持つ。 俳諧 ［発句］	ａ：俳諧を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：俳諧についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ｃ：本教材から学習したことやその他の古典作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした句を創作しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
後期	軍記物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ［教材］ 平家物語 ［忠度の都落ち］ ［壇ノ浦］	ａ：言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：軍記という文章の種類を踏まえ、登場人物の心情や本文の構成、展開などを的確に捉えている。 ｃ：内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作品における描写について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	孟子が主張する「性善説」など、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。 ［教材］ 孟子 ［性善］	ａ：「孟子」を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］：「孟子」の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ｃ：本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の思想について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※令和４年度以降入学生用

後期	「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 ［教材］ 源氏物語 ［光源氏の誕生］ ［小柴垣のもと］	ａ：本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ｂ［読］:「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ｃ:内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	「荀子」の読解を通して、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。 ［教材］ 荀子 ［性悪］	ａ：「荀子」を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深め、その知識を活用している。 ｂ［読］:「荀子」を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめている。 ｃ：本文の内容を踏まえてディベートを行い、自分の考えを深めるとともに、ディベートを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間